

**Equal Pay Day**(イコール・ペイ・デイ:EPD)全国会議

# 賃金の男女格差解消に向けて ～格差をもたらすものは何か～

2020年の  
EPD  
5月6日

男女の賃金格差解消のためには、格差の現状を可視化する必要があると考え、BPW は、男性の年収と同じ金額を女性が手にするには何日余計に働かなければならないか、を計算して、その日を『イコール・ペイ・デイ(同一賃金を手にする日)』として、男女賃金格差の存在を、広くアピールしてきました。女性にとって、賃金の男女格差の解消は、喫緊の課題です。

近年、男女の賃金格差は世界中で重要な課題として脚光をあびるようになり、ILO など国際機関の協働により、昨年の国連総会で、毎年 9 月 18 日を“平等な賃金の国際デー”と決定し、今年初の会合がもたれました。また、国連の SDGs ターゲット 5 に明記された『女性及び女子のあらゆる形態の差別を撤廃する(5-1)』の達成のためにも男女の所得・賃金格差の解消が求められています。

イコール・ペイ・デイ(EPD)運動は、直接的な賃上げ運動ではなく、男女の賃金格差を「見える化」することで、格差解消を目指しています。

日時 **2020年10月18日(日) 13:30～16:30**

会場 **婦選会館ホール** 渋谷区代々木2-21-11 **同時オンライン開催**  
参加無料

定員 会場 25名(収容定員の1/3)、オンライン Zoom 定員 75名

## ◆◆◆ プログラム ◆◆◆

第1部(13:30～14:00) 政策説明 厚生労働省雇用環境・均等局  
雇用機会均等課長 渡辺 正道氏

第2部(14:00～15:10) 講演 「男女の賃金格差の原因を探る」  
～女性の権利を国際基準に～  
講師 浅倉むつ子氏 早稲田大学名誉教授

第3部(15:15～16:30) 意見交換とアピール採択  
～今後の EPD 運動について～



## 講師プロフィール

### 浅倉むつ子(あさくら むつこ)氏

早稲田大学名誉教授。東京都立大学名誉教授。労働法・ジェンダー法専攻。女性差別撤廃条約実現アクション共同代表。1979年・東京都立大学大学院博士課程単位取得退学。1993年・法学博士(早稲田大学)。日本学術会議会員、日本労働法学会代表理事、ジェンダー法学会理事長を歴任。著書に『男女雇用平等法論—イギリスと日本』(ドメス出版)、『労働法とジェンダー』(勁草書房)、『雇用差別禁止法制の展望』(有斐閣)他、多数。

主催 認定NPO法人日本BPW連合会 後援 内閣府男女共同参画局 厚生労働省



**BPW**とは、「Business and Professional Women」の略で、日本BPW連合会は、国連の経済社会理事会の諮問機関として総合協議資格を持つNGO団体BPW Internationalに加盟し、働く女性の利益を促進し、女性の社会的地位と職業水準の向上を図るとともに、国内および国外の働く女性の親交と理解を深め、世界平和に寄与することを目的とした団体で、全国に17のクラブとアソシエーツがあります。

主な活動は、男女格差解消のため、国内の男女賃金格差を見える化する「イコール・ペイ・デイ活動」、国際的な格差ランク「男女格差指数(GGGI)」の広報活動、「WEPs 署名推進活動」など。また若い女性の活躍支援として「CSW インターン派遣事業」「ヤング・スピーチコンテスト事業」を継続しています。内閣府男女共同参画推進連携会議の当初からの構成団体で、2009年9月に法人化、2017年認定NPO法人になりました。2015年より活動目標として「203050<2030年までに完全な男女平等(50-50)の実現を目指す>」掲げています。

# イコール・ペイ・デイ全国会議開催

2020年10月18日(日) 13:30~16:30

会場 婦選会館ホール&オンライン同時開催

参加 会場13名 オンライン24名

テーマ 賃金の男女格差解消に向けて  
～格差をもたらすものは何か～

第1部：政策説明 渡辺 正道氏(厚生労働省雇用環境・均等局雇用機会均等課長)

第2部：講演 「男女の賃金格差の要因を探る ～女性の権利を国際基準に～」  
浅倉 おつ子氏(早稲田大学名誉教授)

第3部：意見交換とアピール採択

**Equal Pay Day(イコール・ペイ・デイ:EPD)アピール**  
2020年10月18日のEPD全国会議において、次のアピールを採択する

**1 男女の賃金格差を知ろう! 2020年のEPDは5月6日(一般労働者)**

\*男性が1年間に得る賃金を、女性は1年では得ることができず、翌年の5月6日まで働いて、ようやく得ることができる。この日がEPDということも、心に落とし込もう。

\*男女の賃金格差は若いころは小さいが、年を取るほど拡大することを、心に落とし込もう。

\*企業の管理職に占める女性比率に加えて、男女の賃金格差を公開しよう。機関投資家はコーポレート・ガバナンスを注視している。

**2 男女間の賃金格差の原因は、男女の職階と勤続年数の差!**

\*格差解消のため、両立支援策、ワーク・ライフ・バランス、女性の登用を目指すポジティブアクションが不可欠。男性も育児・介護を担おう。

**3 同一価値労働・同一賃金の実現を目指そう!**

**4 みんなの協力で格差解消を!**

\* COVID-19により、働く女性が追い詰められている状況を直視し、社会を変えていこう。

\* 行政(中央・地方)に積極的な協力を求めよう!

\* 経済界・資金団体・マスコミ等に「理解と協力と行動を!」と呼びかけよう!

